

【学会発表・論文】

～ 2025 年度 ～

- 平田萌々花. レジデント制度による理学療法士の育成戦略. 第 60 回日本理学療法学会 研修大会. 2025
- 高橋弦. 症例呈示 右踵骨重症骨髄炎による右下腿切断患者. ゼロから学べる糖尿病と慢性腎臓病患者の理学療法 . 2025
- 五十嵐貫太. 救急科入院患者におけるオトガイ舌骨筋の低横断面積は入院関連機能障害に影響する. 第 11 回 日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2025
- 五十嵐貫太. 救急科入院患者におけるオトガイ舌骨筋の低横断面積は入院関連機能障害に影響する. 第 12 回 日本サルコペニア・フレイル学会大会. 2025
- 葛西祐之介. 救急科入院患者におけるオトガイ舌骨筋の横断面積低値は非自宅退院のリスク要因である. 第 12 回 日本サルコペニア・フレイル学会大会. 2025
- 新山祐貴. 摂食困難に対し口唇への味覚刺激および食具の工夫によりゼリー摂取が可能となった急性期脳梗塞により全失語を呈した一例. 第 59 回 日本作業療法学会. 2025
- 新山祐貴. 脳梗塞後の先行期の問題により経口摂取獲得に難渋した事例. 日本作業療法士協会 摂食嚥下応用Ⅳ. 2025
- 荒川世麗. 脛腓骨骨折術後に生じた可動域制限の遷延に対して、エコーガイド下によるストレッチが効果的であった 1 例. 第 44 回関東甲信越ブロック理学療法士学会 合同開催 第 28 回山梨県理学療法士会学術集会. 2025
- 小澤哲也. 高齢心不全患者において、自己申告による運動習慣がないことは退院 6 ヶ月後の身体機能低下の危険因子である. 第 31 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 2025
- 小堀風結. West 症候群を合併した脳性麻痺児における座位保持装置の導入の効果—修正月齢 9 ヶ月の 1 例—. 第 12 回日本小児理学療法学会学術大会. 2025
- Ozawa T, Inoue T, Naruke T, Sato R, Shimoda N, Yuge M. Exercise After Hospitalization Is Associated With Lower Readmission Rates in Older Heart Failure Patients Regardless of Prior Exercise Habits. *Circ Rep.* 2025;8:219-227.
- Ozawa T, Inoue T, Naruke T, Sato R, Shimoda N, Yuge M. Absence of Post-Discharge Exercise Habits Predicts Functional Decline in Older Heart Failure Patients— A 6-Month Follow-up Study. *Circ Rep.* Advance Publication

～ 2024 年度 ～

- 増田隆之介. 急性期病院に入院した大腿骨近位部骨折患者の筋厚が退院時 ADLへ与

える影響. 第3回日本老年療法学会学術集会. 2024

- 佐藤隆一. NICU退院時のNBAS活用～中等度早産児および後期早産児の発達支援に向けた取り組み. 第51回ハイリスク児フォローアップ研究会. 2024
- 平田萌々花. 白蓋形成不全へのアプローチが右膝前十字靭帯再建術後の膝関節屈曲可動域の獲得に有用であった一症例. 第12回日本運動器理学療法学会学術大会. 2024
- 平田萌々花. 骨付き大腿四頭筋腱による前十字靭帯再建術後の荷重開始時期がAnterior Knee Pain や膝関節伸展筋力に与える影響. 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会第30回千葉県理学療法学術大会合同大会. 2024
- 平田萌々花. 両関節白蓋形成不全を有する右膝前十字靭帯再建術後患者の理学療法経験. 第3回神奈川県理学療法士協会主催症例検討会. 2024
- 佐藤隆一. NBASを用いた中等度および後期早産児の退院リハビリテーション指導. 第11回日本小児理学療法学術大会. 2024
- 平田萌々花. パーキンソン病を有する右頭頂葉皮質下出血において鏡を利用した課題がPusher 現象の軽減に有効と考えられた一症例. 第41回神奈川県理学療法士学会. 2025
- 平田萌々花. 地域の急性期病院におけるPT としてのプロフェッショナルリズム. 第11回日本理学療法哲学・倫理学研究会フォーラム. 2025
- 高橋弦. Employee Net Promoter ScoreをKey Performance Indicatorとした生き生きと働ける職場作りについての取り組み. 第41回神奈川県理学療法士学会. 2025
- 佐藤隆一. 病院機能評価の業務改善がリハビリテーションスタッフのメンタルヘルスに及ぼす影響. 第10回日本精神・心理領域理学療法研究会学術大会. 2025
- 片桐里央. 心不全コントロールに難渋し、積極的離床が困難であった冠動脈バイパス術後の一症例. 第41回神奈川県理学療法士学会. 2025
- 片桐里史. 臨床と研究をできる環境に充実～臨床業務1年目・研究活動1年目～. 第4回レジデントフォーラム. 2025
- 鈴木 佑, 他. 人工股関節全置換術症例における腰痛の推移—Oswestry Indexを用いた縦断的研究—. 理学療法—研究と技術—. 2024. 第52号: 49-56
- Momoka Hirata, 1t. Gait training using knee-ankle-foot orthosis on lateropulsion in lateral medullary lesions: a case study. Journal of Rehabilitation Neurosciences. 2024; #524 :51-57
- Tetsuya Ozawa, 4t. Coexistence of Non-lower Body Mass Index and Exercise Habits Readmission in Older Patients with Heart Failure. Ann Rehabil Med. 2024; 48 第5号: 344-351
- Momoka Hirata, 他. Preoperative Posterior Pelvic Tilt Angle is Associated with Decreased Gait Speed and Hip Function in Older Patients with Hip Osteoarthritis. Prog Rehabil Med. 2025;第10号:210 :20250004

～ 2023年度 ～

- 佐藤隆一. 公的病院におけるレジデント制度導入までの経緯について. 日本理学療法管理学会 日本精神・心理領域理学療法研究会 合同学術大会. 2023
- 佐藤隆一. 組織全体で取り組まれた病院機能評価がリハビリテーションスタッフの健康状態に及ぼす影響. 日本理学療法管理学会 日本精神・心理領域理学療法研究会 合同学術大. 2023
- 佐藤隆一. 当院 NICUにおける理学療法実施の有無が中等度および後期早産児に与える影響. 第10回日本小児理学療法学会学術大会. 2023
- 小澤哲也. 心不全の増悪、再入院を予防するために. 小田原医師会在宅医療研究会 Web講座. 2024
- 小澤哲也. 急性期病院における内部障害の実際. 新潟医療福祉大学内部障害系理学療法講義. 2023
- 小澤哲也. 急性期病院におけるレジデント制度を利用した循環器理学療法教育の実際と課題. 日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会 2023
- 新山祐貴. 急性期脳卒中患者における早期トイレ排泄の可否に影響する因子. 第57回日本作業療法士学会. 2023
- 大山由廉. 乳がん術後に凍結肩を呈し、観血的手術に至った一症例. 第20回日本肩の運動機能研究会. 2023
- 中山滋. 言語聴覚士養成校学生の就職活動実態調査. 第 23回日本言語聴覚士学会. 2023
- 長田きらら. がんのリハビリテーションの問題点と改善策. がんのリハビリテーション研修会. 2023
- 内山祈. 頸椎除圧固定術後に嚥下機能障害を呈した症例. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023
- 内山祈. Effects of type 2 diabetes mellitus on prefrontal hemodynamics during the postural alteration in patients with acute cerebral infarction, International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. 2023
- 内山祈. 急性期病院における内部障害の実際. 新潟医療福祉大学 内部障害系理学療法講義. 2023
- 石津翔太. 体幹機能低下により板書動作の獲得が困難になった症例. 理学療法科学学会. 2024
- 鈴木 男佑, 他. 人工股関節全置換術症例における腰痛の推移—Oswestry Indexを用いた縦断的研究—. 理学療法—研究 技術—. 2024 ; 第52号 : 49-56

【表彰 2010年～】

- 第12回日本サルコペニア・フレイル学会大会 大会長賞（2025年）救急科入院患者におけるオトガイ舌骨筋の低横断面積は入院中の嚥下機能を低下させるリスク因子である。五十嵐貫太
- 第24回日本心不全学会学術集会 YIA 審査講演（ハートチーム）優秀賞（2020年）日本人における年齢性別調整標準歩行速度の開発と高齢心不全肝におけるその妥当性の検証。小澤哲也
- 第17回日本心不全学会学術集会 コメディカル部門 YIA秀賞（2013年）入院期心不全患者に対する早期からの歩行開始の効果と安全性～クリニカルシナリオ1、2の患者に対する検討～。小澤哲也
- 日本腎臓リハビリテーション学会第2回学術集会 Young Investigator Award（2012年）維持血液透析患者に対する心臓手術後リハビリテーションの現状と課題。小澤哲也
- 第2回理学療法学掲載論文 最優秀賞（2011年）維持血液透析患者に対する白覚的困難さに注目した移動動作評価表の頼性と妥当性の検討。小澤哲也